雅波 曲尚一抑ナシ
位軽強 居

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あまのよくちんたうしもしど
ひとへ　ためしにもなりぬべき今
はかりの　ときまつ
ぬれぬ　ぬれぬ　ぬれぬ
笑ものをさ　ものの
しまの海さ　ものの
浦つたひ　ものの
色さらぬ　色ぬ　色ぬ　色ぬ　色ぬ
うはの空なる　ふるしぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
くれかたのなりぬ　ぬ　ぬ
くもかくれなりぬ　ぬ　ぬ
いくよ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
まつ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ

わかやくつちくもくしく祭代
風のさいてうさいてうさいてうこ
これ代のさちひ法く國とめくこ
あこと忘てしいわさまうや
四つなこと川つてくしひ四のと
のうをのとうなる阿とうや
つみのうち迫つ万代と
いとくなるんそ
かうこうおまいひつこのんつ
こもしこちまやおちちを
あの代とわ今んどこのこと
くちこまうておまこと

三

一八九二年一月二日

屠蘇

いとの見ぬ人

三月

ことしのみ

八月

ものいひてくらすなり

やうなる

やうなる

梅のこうけとまつ

さくらのやうなる

あるいは

梅の

四月

ものいひてくらすなり

初の人

ものいひてくらすなり

ひかりかがやくうらに

ひとりぬしとあり

梅花

くるまのうしろ

地獄

えんまの

花

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

思ひたちこの春と
なりまされんの
しでやしぬるかぬ
ひろさ
もとさくらの
うちもとも
つ梅の
ひもとも
木下こぶ
見ぬそめく
つ
こそ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

らかくさきあつまりて
こゝにやすらへ
花のかゝりに
こゝにこゝにこゝに
ふしをひ
まれなるかぜにちりまがひ
こゝにこゝにこゝに
さくらはなびらぐまもなく
よひとかしいのまに
ひ
やまのかぜにさまよひ
かゝるかぜにちりまがひ
めくるとうこの
まるうり
ゆくくるくるくるひ
岡のうへにちりまがひ
ゆくとうのあとまで

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
ひゃくさいやとゝのひ今わいけうの
命ふそくさに　たゝめ　ちゝやさそれ
うをりかたしぬ　ぐそれわそ海
やたのの　ぬまの　のうを海て
[illegible]

なくわかとらやぬ　度とも　南ようさ
[illegible]
ふるりく　よの　のうをれぐそ
[illegible]
ぬしたは　みやた　たりねさ　ぐか
二月十日
御ん　なりく　船ふもん　ぬん
さうあの　三月　見ふ　やそ　ぬさ
しあそを　ぬ　ぬん　ぬう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

さんにふとしてあらけくがこころさま
をのんこは社だうやれはさいれんしを
ふまそれへ人　はまこうこうやさいちをも
ゆをまいりふかうやれ家をは時へ
我ちうこ分をもをれはりう社へ　はの
こうくふかいをうしりをうしをしし
はをはまれををしてあるしをはを
一はまはをはをはをはをはをはをはを
うりはをはをはをはをはをはをはを
海をはをはをはをはをはをはをはを
はをはをはをはをはをはをはをはを
やうをのこうくをををはをはをはを
はをはをはをはをはをはをはをはを
人いまさ　一ふんこせんのをさをわう
はをはをはをはをはをはをはをはを
りをくをこをのををををををををを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

元一ゝゝゝ

はのひらもみんな紅葉かしとみん
分のしるべさんくわうとおもふて
ぬしまちいとやうくうかしぬと
けふひしりぬさうふくと無事りの
いくひとおらくこのおとんりうの
虎

やひまりとうかくらりをけう
とうぐうまもうたまうりと
あとをとまりぬらられちとか
るぬかうまりまを君の仙和
どんうひくくひ実ういさ
めうらぬ無事ハ仙さりたいとの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

源氏物語　桜出二ノ巻今春八幡
佐中姫打切ヨリ左

ちるをしまれぬ
はなのかげ　花
見ハわくらはの
くもゐにまがふ
ものとこそ
みるべかりけれ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ぐんぐんとそうとかうこうしが
さいさいくうまれとさひ春の
くこくこくこくこくこくこくこくこくこ
ようふくこくこくこくこくこくこくこくこ
こくこくこくこくこくこくこくこくこく
こくこくこくこくこくこくこくこくこく
こくこくこくこくこくこくこくこくこく

つくまつりし時、我もとわれ生れくだしし
くんしとうらの毎しらせ
そこさとくかまびてくんしとおさこ
飛のやしろ身うきさのもとかしん
石とくしのまの石宮
ゆとうの飛しやうもしまれ
のつぐ宮もそなさうの有もさし
てそしたの石のらえもさんや
らしらもとうらしく根石山に来
里つぐ神くんとつとうすおくらぐ
とと文うこれのこのあんまもの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

つゆ　ふれさせじ　ぬれぎぬ

ぬれぎぬ　ひとのとがめん

こと　なれば　ぬれぎぬ

しるべ　なれば　ぬれぎぬ

ぬれぎぬ　ぬれぎぬ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うんどくもとしわかき君とひさ
しきれ　女　女めつらさをさきの
月　ものとおもふあはさともら
　　女　　月
　　女　　月
　　女　　月

かけくらべうたのこと

つねのくらべうたとて
内にしてうたはるるやうとおぼしき
かたはらのふくやうとおぼしき
かたはらのうたとて
十女
今はひとさえうたひしろ
同上
人はまことにさぶらはんにはひしろ
ひとりとさはとなりしやひしろ
ひとりとのいとおもしろうたう
やうやうの
十月十五日
やうやうの
やうやうの
ひとりとやうにかけたるやうの
よろづのことのようにの

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

しとうや見とりけるうつくしへ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

まうさ数は家にはまきぶそく
を地の命とは海とうのかさと
づ家のうの数はとこんぞぼせの
ちきくに殺されてつりにお
くに　屋敷　いろは見なる所奉公人
はちうに　こたえられくにひら
はちうに　いろはにほへとちり
くるとぶ浦とはいろ船ひを
さんひはとわこさう海とやん
梅ひ形ら及ぶうのこさう海ふそひ
くるそやたさまこ
う海よひくわこ

ら山にてくらしやうてはいとまもなく濃
そやわたれり海やひ　わやされ
張人やどれなりとうまにかうとうはんを
ふるさとは去絵のうしのわかやうもわさを
ゝ浦よりわさしぐひかさりうは
やはんやうて後世をあんぐ
なりさいもかわるまのかたちめもの
海さかりかしくぐやうしかひかりと
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

よと海をわたれば
とりとらひとつ
ちわびくくまし
おもこころわ
のぼりくもひ
ぬしくもこと
ばしまの中一流
つわまし飛ぶ
のおもひ
やめいの道
かわ

十二月廿

なし

ろ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一ぞのくさぐさの花のひとさかり
つむれむなしく後ぞのえんぐうして
わまのうらびてはとむ出のこしもも
ぎとそそのうめ
なとこはわまくば酒のようにわ
まことひろまわよるのべのうらなり
ぬなまはやうひしやうく酒のぞら
とうくめとそのひくくよひ網の沖
まもいそいそいを船ぬんばぐるしの
そわこれあわこさうまをさうらわ
かと孰んへ網とうむ八百八海さよ
さなこそこのうあ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

もまんまんかの
ようちんとと
ゆ月ばかりそこ
花ぬれ袖うらぶれ今にうかれ
うらうまのりとひ
なかしうらぶれ
やがてひとくしゃなみ
ーーーーーーーーーー
ーーーーーーーーーー
と海原にうかぶ
とかこうあたまや枝に
孫乃釣りをそなたこそ
うらふ月の祈乃

[illegible]
[illegible]入[illegible]今[illegible]
[illegible]
今[illegible]の義にわたらば我
国[illegible]勝[illegible]
[illegible]我道[illegible]
[illegible]
[illegible]国[illegible]備法と
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

梅はやさくを見ては春の
ぞれ永園い天地開闢より
来ぜんは禅師玉ぐしぐれ
今よりうんたらぼうく法の
さは数山おわまこれ国なり天
ヨ上五九一し一
ちぶんぶんぶんぶ
梅いよ
一一一一一一一一一一一一一一一一一
有れ仏法いい指ら天二義より
一一一一一一一一一一一一一一一一一
五帝
ちまこ義ふ乃奥義とつ
一一一一一一一一一一一一一一一一一
ニ
ニテ
邪義魔学乃とこ法
五帝
ぬと
一一一一一一一一一一一一一一一一一
ひぐらく
ニテ
人面やまくうの

八りんう　蟠蝦りゝ行ゆゝ猿
振り尾小わひ同しゆ小ゝ
ゝゝもゝさゝろな
勝んゝ乃ゝゝわゝとえんゆゝ
ひゝゝ威力ゝよゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
いゝくゝゝゝくゝ
利益ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]にあらうさぶ世界
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

ひとりけくれあひかくも
のうきそうつらら
やうれにあうおしもうと思
きしたひそや　横川の
さう指ちり　荀て行
ふるつを　元
やかもとも　あるしとともにいる
ふらりハ　三十四
物とうけ我
ひそまくおなしくもあり
名いうらぶ　貞三三
吉野山の道あん
ゆくく潮大
わ物ゆえとりつ行

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
十二夫どうくく[illegible]
とあつもくぐ[illegible]
おもひ[illegible]
てんかくとうく東風吹
風よ東とうく[illegible]
きん

南下男山面しまん
つとさうや[illegible]
風ふきこそ[illegible]
うつつとも[illegible]
もつきゆめ八潟のなみの
ちさうや見てしらひ[illegible]

[illegible]

此本者観世左近殿之文
ら章句鳴々筆加當流
秘密悉令改正者也

于時貞享三丙寅年孟春吉辰

寺町通二條上町

寺田与茂次郎刊